

5.9 景観

ダム完成後における事業実施区域周辺に分布する主要な眺望点、景観資源及び主要な眺望景観の影響について、調査、予測及び評価を行いました。

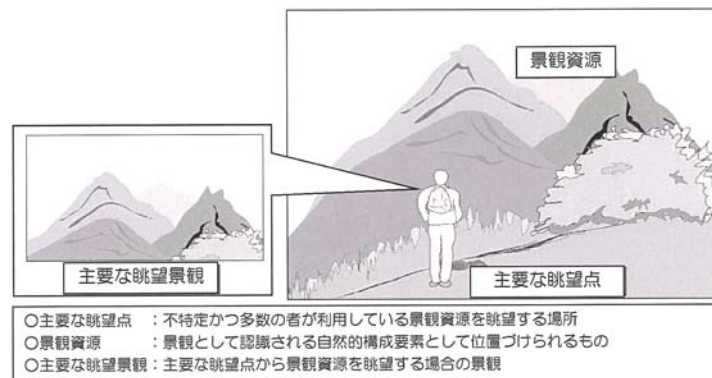


図 5.9-1 主要な眺望点、景観資源及び主要な眺望景観の考え方

5.9.1 調査手法

調査は、川上ダムを眺望できる範囲を考慮し、ダム建設予定地から 33km（堤頂長 330m の約 100 倍）の範囲を対象として行いました。（図 5.9-2 参照）

主要な眺望点の選定にあたっては、図 5.9-3 に示すフローにより文献調査、可視領域や視角、代表性を考慮に入れた検討、現地調査等を行い、5 地点を主要な眺望点として選定しました。選定された主要な眺望点を図 5.9-2 に示します。

景観資源については文献調査を行い、合計 58 箇所が選定されました。

主要な眺望景観の状況については、主要な眺望点 5 箇所からの景観を現地調査において確認しました。

景観の調査手法は表 5.9-1 に示すとおりです。

表 5.9-1 景観の調査手法

| 調査すべき情報 | 調査手法 | 調査地域 調査地点 | 調査時期 | 調査内容 |
|------------|--------------|--|---------------------------------------|--|
| 主要な眺望点の状況 | 文献調査 現地調査 | 堤体から 約 33km の範囲 | - | 文献調査及び現地調査により、主要な眺望点を選定しました。 |
| 景観資源の状況 | 文献調査 | 堤体から 約 33km の範囲 | - | 文献調査により、景観資源を選定しました。 |
| 主要な眺望景観の状況 | 現地調査 | ・青山高原（東海自然歩道） ・上野公園 ・三上山 ・神野山 ・国見山 | 冬季（1月10日、3月20日*）の昼間 ※青山高原のみ再調査を実施。 | 現地調査（写真撮影）により、主要な眺望点から景観資源を望んだ場合の眺望景観の状況を把握しました。 |

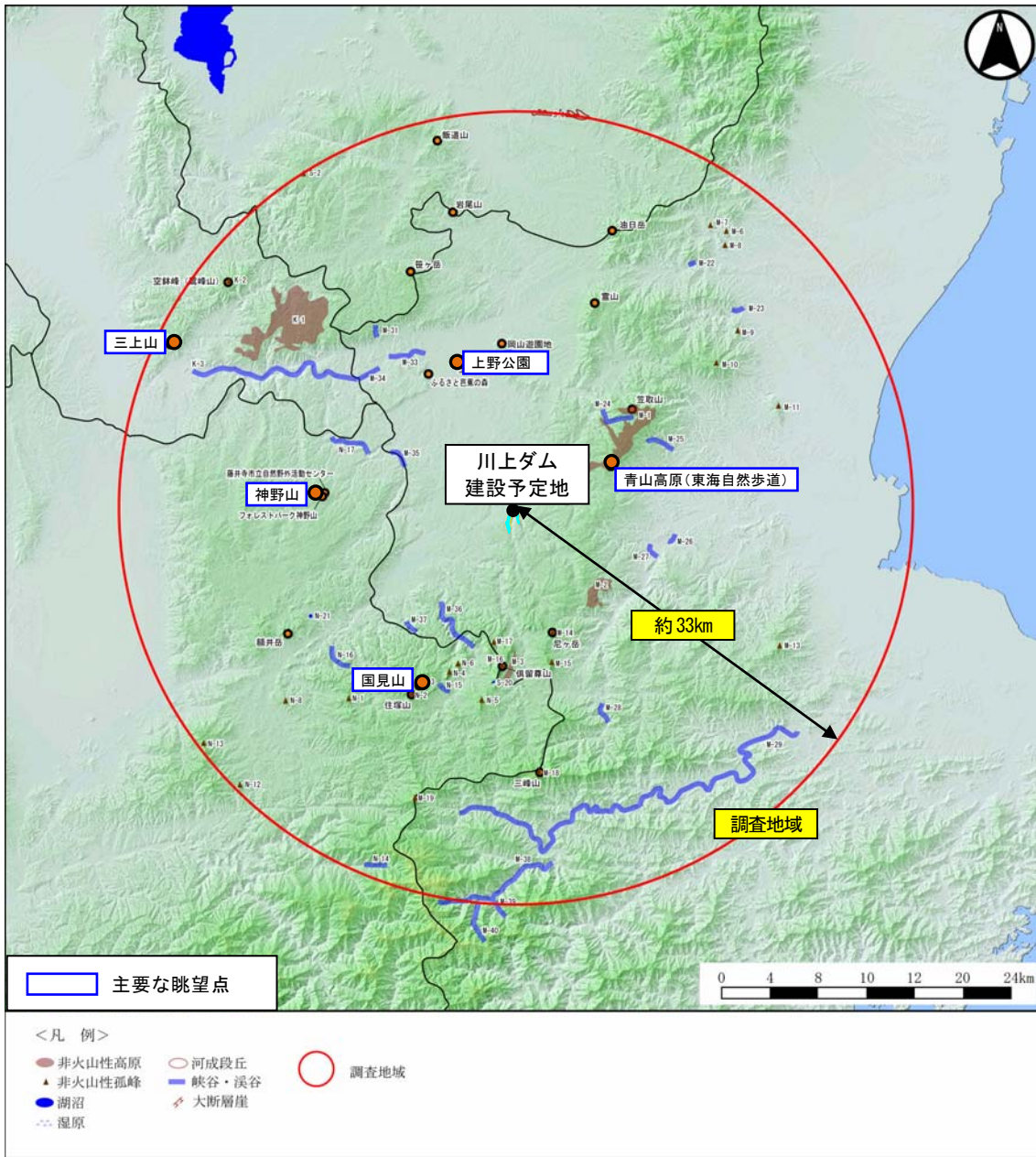


図 5.9-2 調査地域と主要な眺望点

5.9.2 調査結果

景観の調査結果は表 5.9-2 に示すとおりです。

表 5.9-2 景観の調査結果

| 調査項目 | 調査地点 | 概要 |
|------------|--------------|---|
| 主要な眺望点の状況 | 青山高原（東海自然歩道） | 青山高原は、布引山地一帯に標高 700～800m、南北約 10km にわたってゆるやかな起伏をなす高原です。稜線では、青山高原道路沿いに東海自然歩道やふるさと公園の散策路が整備され、四季を通してハイカーで賑わっています。眺望点へのアクセスは青山高原道路が整備されており、自動車により簡単にアクセスすることができます。青山高原の南端近くに位置する髻山（756m）上からは、良好な眺望が得られます。 |
| | 上野公園 | 上野公園は伊賀鉄道上野市駅から近く、駐車場もありアクセスが容易です。眺望点は上野城天守閣で、南側の窓が開放されており、観光用望遠鏡も設置されています。 |
| | 三上山 | 眺望点下は山城町森林公園が整備されており、駐車場も整備されています。眺望点は林道から少し登ったところにあり、頂上は広くありませんが、展望台が設置されており、四方の展望が開けています。 |
| | 神野山 | 眺望点下はフォレストパーク神野山として整備されています。駐車場等の施設も整備されています。眺望点へは駐車場から山道を徒歩で登る必要があります。頂上には展望台があります。 |
| | 国見山 | 眺望点南側には屏風岩公園等があり、駐車場も整備されています。国見山への登山ルートとしては、屏風岩公園から住塚山を経由するルートと北側の東海自然歩道から直接登るルートが一般的です。 |
| 景観資源 | 非火山性高原 | 青山高原、布引高原、池の平高原、竜仙房 |
| | 非火山性孤峰 | 鬼ヶ牙、羽黒山、筆捨山、観音山、摺鉢山、経ヶ峰、長谷山、矢頭山、堀坂山、尼ヶ岳、大洞山、俱留尊山、国見山、三峰山、高見山、三郎岳、住塚山、国見山、兜岳、古光山、鏡岳、耳成山、伊那左山、竜門岳、天香久山、御破裂山、鳥ノ崎屋山、音羽山、鷲峰山、古城山、太神山、笠取山 |
| | 湖沼・湿原 | お亀池、竜王ヶ淵、名称なし（湿原） |
| | 河岸段丘 | 水沢扇状地、宮川の河成段丘、布引山 |
| | 峡谷・溪谷 | 石水溪、宮川溪谷（石水峡）、金場溪谷、門前ヶ淵、馬野溪谷、谷峪川溪谷、瀬戸ヶ淵、家城ヶ谷、奥一志峡、香肌峡、領内溪谷、大谷溪谷、中ノ瀬峡、岩倉峡谷、熊橋峡谷、大滝峡谷、香落溪、赤目峡谷、奥香肌峡、江馬小屋谷、宮ノ谷、大又溪谷、済浄坊溪谷、深谷溪谷、月ヶ瀬梅溪、大滝峡谷、大津川溪谷、宇治川溪谷、（名称なし2地点）、宇治川ヶ谷 |
| | 大断層崖 | 一志断層崖 |
| 主要な眺望景観の状況 | 青山高原（東海自然歩道） | 青山高原を眼下に望むことができます。 |
| | 上野公園 | 尼ヶ岳、俱留尊山を遠景に望むことができます。 |
| | 三上山 | 大津川溪谷を眼下に望み、尼ヶ岳を遠景に望むことができます。 |
| | 神野山 | 笠取山及び青山高原を遠景に望むことができます。 |
| | 国見山 | 笠取山を遠景に望むことができます。 |



写真 5.9-1 (1) 上野公園からの現況の眺望景観の状況



写真 5.9-1 (2) 三上山からの現況の眺望景観の状況



写真 5.9-1 (3) 国見山からの現況の眺望景観の状況

5.9.3 予測手法

予測対象とする影響要因と環境影響の内容は表 5.9-3 に示すとおりです。

「主要な眺望点」及び「景観資源」の改変の程度については、事業実施区域と「主要な眺望点」及び「景観資源」を重ね合わせることで、影響を予測しました。

「主要な眺望景観」の変化については、フォトモンタージュにより、眺望景観の変化及び影響要因の視角の程度から影響を予測しました。

予測地域は、調査地域と同様としました。

予測対象時期は、ダム建設が完了し、管理が開始された時期としました。

表 5.9-3 予測対象とする影響要因と環境影響の内容

| 影響要因 | | 環境影響の内容 |
|----------------|---|---|
| 土地又は工作物の存在及び供用 | <ul style="list-style-type: none"> ・ダムの堤体の存在 ・原石山の跡地の存在 ・道路の存在 ・ダムの供用及び貯水池の存在 | ダム堤体等の存在により、「主要な眺望点」から「景観資源」を見た場合の眺望景観が変化し、「主要な眺望景観」に影響を及ぼすおそれがあると考えられます。 |

5.9.4 予測結果

「主要な眺望点」及び「景観資源」の予測結果は表 5.9-4、供用後の「主要な眺望景観」の予測結果については表 5.9-5 及び写真 5.9-2 に示すとおりです。

表 5.9-4 主要な眺望点及び景観資源の予測結果

| 調査項目 | 調査地点 | 予測結果 | 環境保全措置の検討 ^{※1} |
|-----------|------------------|-----------------------------|-------------------------|
| 主要な眺望点の状況 | 青山高原 (東海自然歩道) | 事業実施区域から離れており、改変はないと予測されます。 | — |
| | 上野公園 | | |
| | 三上山 | | |
| | 神野山 | | |
| | 国見山 | | |
| 景観資源 | 非火山性高原 | 事業実施区域から離れており、改変はないと予測されます。 | — |
| | 非火山性孤峰 | | |
| | 湖沼・湿原 | | |
| | 河岸段丘 | | |
| | 峡谷・溪谷 | | |

※1. —：環境保全措置の検討を行わない項目を示します。

表 5.4-5 供用後の主要な眺望景観の予測結果

| 調査項目 | 調査地点 | 予測結果※1 | 環境保全措置の検討※2 |
|------------|------------------|--|-------------|
| 主要な眺望景観の状況 | 青山高原 (東海自然歩道) | 事業実施区域は南西方向約 9km に位置しており、貯水池、付替県道松阪青山線及び付替市道が眺望できます。 貯水池の視角は長辺 1.4°、短辺 0.1°、付替県道松阪青山線は長辺 2.5°、短辺 0.1°、付替市道は長辺 4.8°、短辺 0.2° であり、線状にしか視認することができないため、眺望景観の変化は小さいと予測されます。 | — |
| | 上野公園 | 事業実施区域は南南東方向約 14km に位置しており、ダム堤体、付替県道青山美杉線、付替県道松阪青山線及び付替市道が眺望できます。 ダム堤体の視角は長辺 1.3°、短辺 0.1°、付替県道青山美杉線は長辺 1.4°、短辺 0.1°、付替県道松阪青山線は長辺 1.5°、短辺 0.1°、付替市道は長辺 1.4°、短辺 0.1° であり、線状にしか視認することができないため、眺望景観の変化は小さいと予測されます。 | — |
| | 三上山 | 事業実施区域は西南西方向約 33km に位置しており、付替県道青山美杉線及び付替県道松阪青山線が眺望できます。 付替県道青山美杉線の視角は長辺 0.5°、短辺 0.1° 未満、付替県道松阪青山線は長辺 1.0°、短辺 0.1° であり、線状にしか視認することができないため、眺望景観の変化は小さいと予測されます。 | — |
| | 神野山 | 事業実施区域は東方向約 18km に位置しており、付替県道青山美杉線、付替県道松阪青山線及び付替市道が眺望できます。 付替青山美杉線の視角は長辺 1.2°、短辺 0.1°、付替県道松阪青山線は長辺 2.0°、短辺 0.2°、付替市道は長辺 0.6°、短辺 0.1° であり、線状にしか視認することができないため、眺望景観の変化は小さいと予測されます。 | — |
| | 国見山 | 事業実施区域は北東方向約 18km に位置しており、建設発生土受入地及び付替県道松阪青山線が眺望できます。 建設発生土受入地の視角は長辺 1.8°、短辺 0.1° 未満、付替県道松阪青山線は長辺 1.1°、短辺 0.1° であり、線状にしか視認することができないため、眺望景観の変化は小さいと予測されます。 | — |

※1. 影響要因の視角が長辺及び短辺の両方が 1.0° 以上(ダム堤体の場合は人工構造物とみなし 0.5° 以上とする)である場合は、面的に認識することができ、影響があると考えられると判断し、それ以外の場合は、点状又は線状にしか認識することができないため、影響は小さいと考えられると判断しました。

※2. —：環境保全措置の検討を行わない項目を示します。

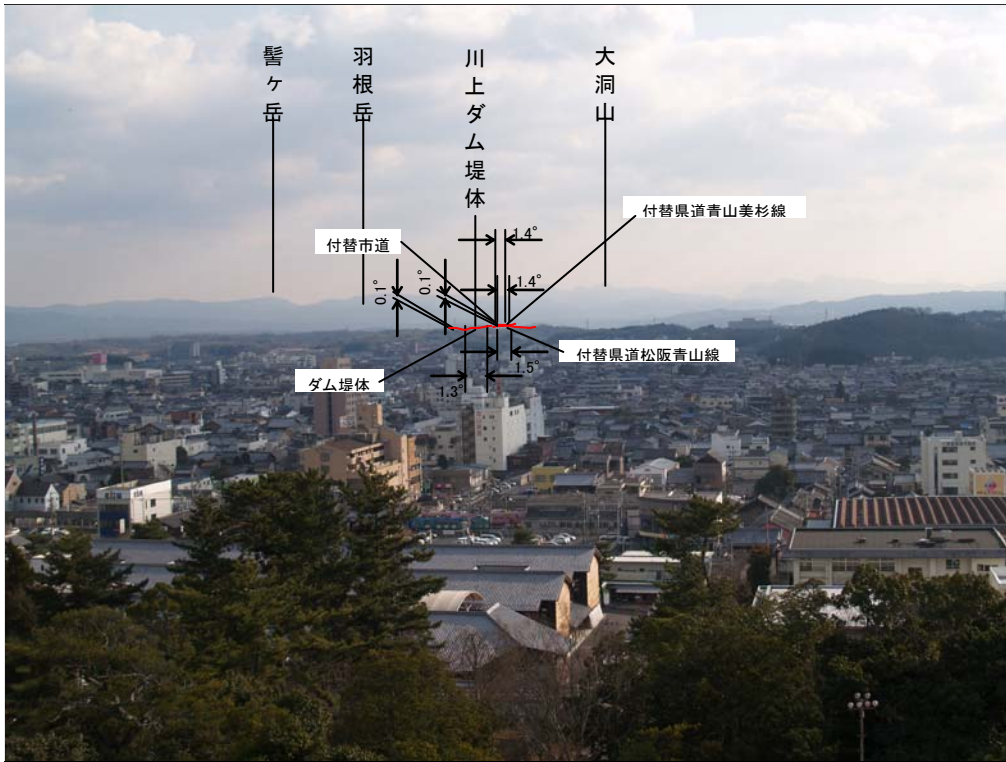


写真 5.9-2 (1) 上野公園からの眺望景観（供用後）

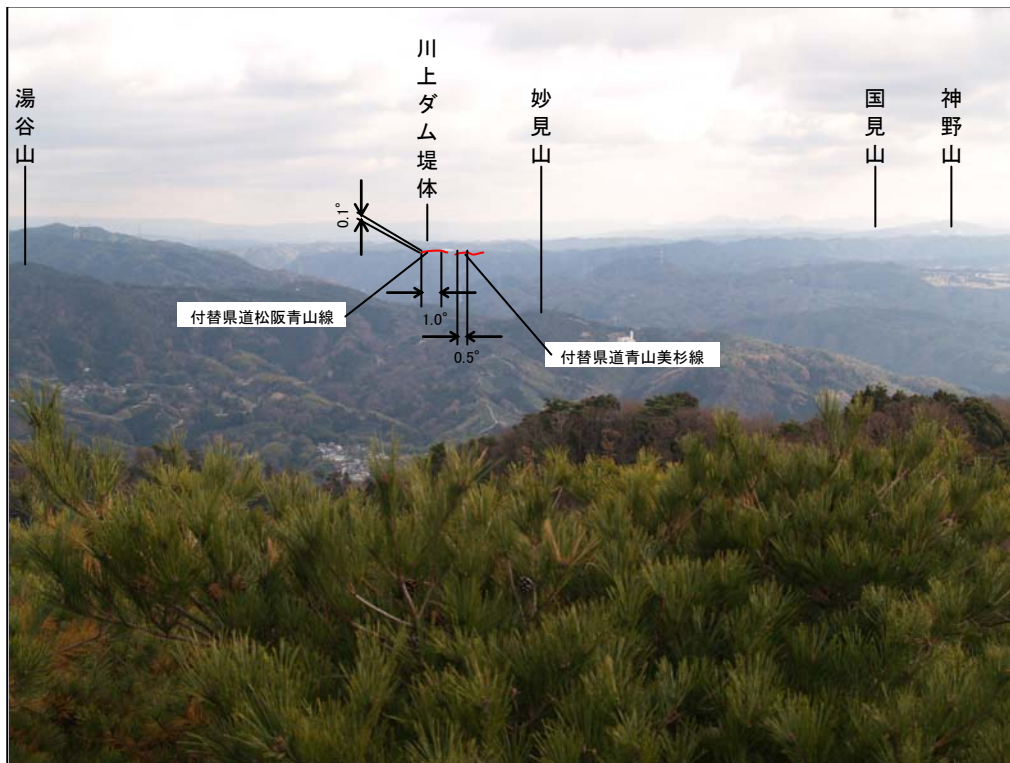


写真 5.9-2 (2) 三上山からの眺望景観（供用後）

5.9.5 環境保全措置

予測の結果から、「土地又は工作物の存在及び供用」による景観への影響はないと予測されたため、環境保全措置の検討は行わないこととしました。

5.9.6 評価結果

景観については、「主要な眺望点」及び「景観資源」並びに「主要な眺望景観」について調査、予測を行いました。

影響予測の結果、「土地又は工作物の存在及び供用」による景観への影響はないと考えられます。

5.10 人と自然との触れ合いの活動の場

人と自然との触れ合いとは、過度に自然に影響を及ぼすことなく自然と共生し、それを観察、利用することにより、自然の持つ効用等を享受することであり、具体的には以下のものが該当すると考えています。

登山、トレッキング、ハイキング、森林浴、散策、サイクリング、オリエンテーリング、自然観察、バードウォッチング、ピクニック、キャンプ、花・新緑・紅葉等の鑑賞、スターウォッチング・・・等

ダム完成後には、触れ合い活動の場の縮小・消滅又は利用性・快適性の変化が考えられるため、事業実施区域及びその周辺並びに木津川と服部川の合流点までの区間に分布する触れ合い活動の場の「改変の程度」、「利用性の変化」及び「快適性の変化」について調査、予測及び評価を行いました。

5.10.1 調査手法

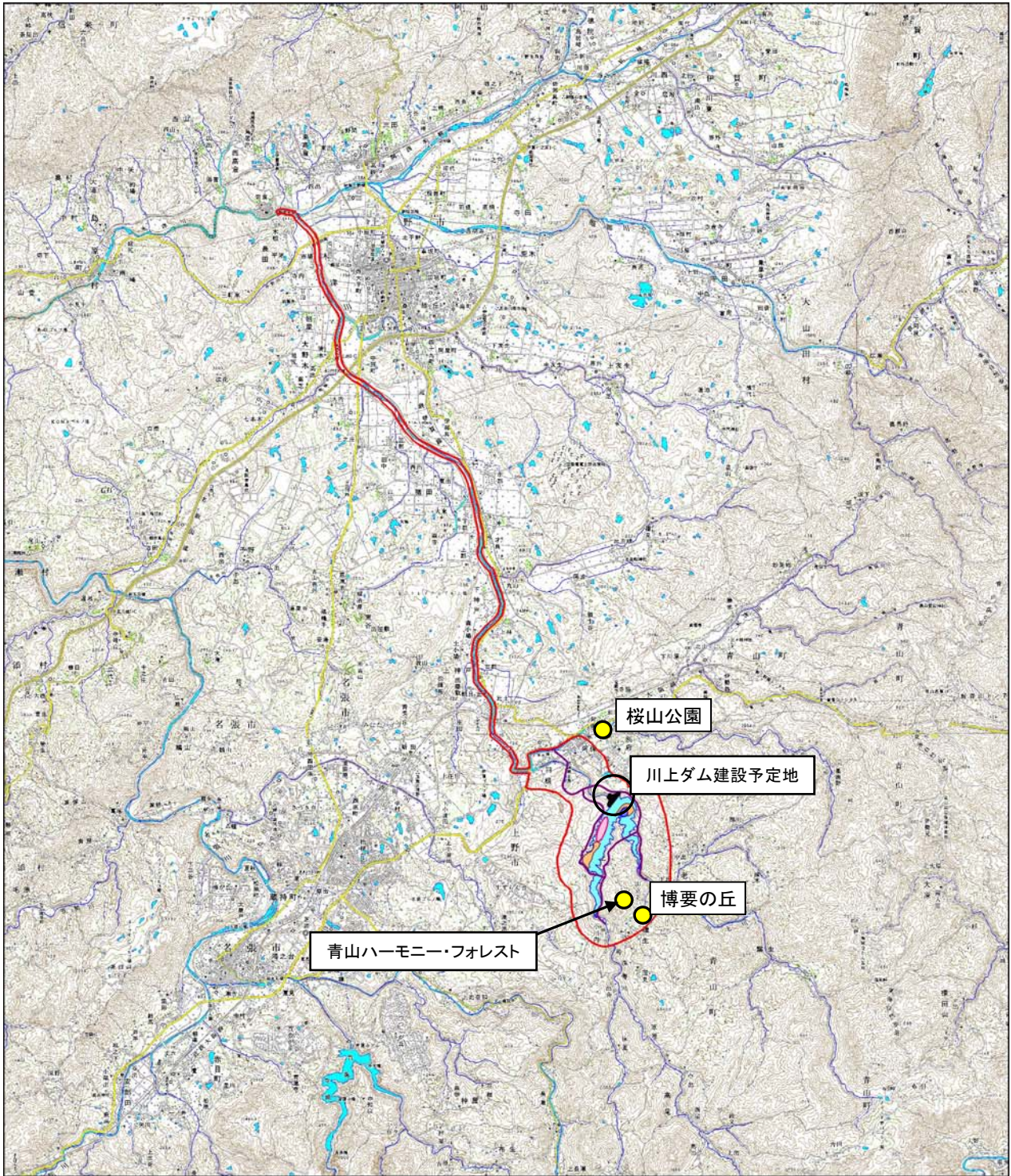
調査は、事業実施区域及びその周辺並びに木津川と服部川の合流点までの区間を対象としました。調査地域を図 5.10-1 に示します。

主要な人と自然の触れ合いの活動の場の選定にあたっては、文献調査を行い、3箇所（博愛の丘、青山ハーモニー・フォレスト、桜山公園）を主要な人と自然との触れ合いの活動の場として選定しました。選定された主要な人と自然との触れ合いの活動の場を図 5.10-1 に示します。

調査手法を表 5.10-1 に示します。


表 5.10-1 人と自然との触れ合いの活動の場の調査手法（文献調査）

| 調査すべき情報 | 調査手法 | 調査内容 |
|-------------------------|------|---|
| 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布状況 | 文献調査 | 文献調査により、主要な人と自然との触れ合いの活動の場を抽出しました。 (文献の出典) 1: 観光三重 (社団法人 三重県観光連盟) 2: るるぶ・三重県伊賀地域 (JTB パブリッシング) 3: 青山を遊ぼう (青山観光協会) |



凡例

-  川上ダム建設予定地
-  湛水予定区域
-  建設発生土受入地
-  施工設備
-  原石山
-  付替道路
-  調査対象区域

 人と自然との触れ合いの活動の場



0 1 5km

図5.10-1 人と自然との触れ合いの活動の場の調査地域及び分布状況

5.10.2 調査結果

人と自然との触れ合いの活動の場の調査結果は表 5.10-2 に示すとおりです。

表 5.10-2 人と自然との触れ合いの活動の場の調査結果

| 調査項目 | 調査地点 | 概要 |
|-------------------------|--------------|---|
| 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布状況 | 調査対象区域及びその周辺 | 調査対象区域内において、ダム堤体より南側約 2.7km に位置する博要の丘及び約 2.4km に位置する青山ハーモニー・フォレストは、主にキャンプや自然観賞などに利用されています。 調査対象区域の周辺において、ダム堤体より北側約 1.5km に位置する桜山公園は、主に自然鑑賞に利用されています。 |

5.10.3 予測手法

予測対象とする影響要因を表 5.10-3 に示します。

予測は、「工事の実施」については、工事の実施内容と主要な人と自然との触れ合いの活動の場の状況等を踏まえ、「土地又は工作物の存在及び供用」については、ダムの堤体の存在等と主要な人と自然との触れ合いの活動の場の状況を踏まえ、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の「改変の程度」、「利用性の変化」及び「快適性の変化」について、事例の引用又は解析によって行いました。

予測地域は、調査地域及びその周辺と同様としました。

予測対象時期は、「工事の実施」については主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る工事期間の環境影響を的確に把握できる時期とし、「土地又は工作物の存在及び供用」については、ダムの建設が完了し、管理が開始された時期としました。

表 5.10-3 予測対象とする影響要因と環境影響の内容

| 影響要因 | 環境影響の内容 |
|----------------|--|
| 工事の実施 | ダムの堤体等の工事により、「改変の程度」、「利用性の変化」及び「快適性の変化」に影響を及ぼすおそれがあると考えられます。 |
| 土地又は工作物の存在及び供用 | ダムの堤体の存在等により、「改変の程度」、「利用性の変化」及び「快適性の変化」に影響を及ぼすおそれがあると考えられます。 |

注) 改変の程度：「工事の実施」及び「土地又は工作物の存在及び供用」に伴い、人と自然との触れ合いの活動の場が直接改変を受ける場合の改変面積及び改変内容等を予測するものです。

利用性の変化：「工事の実施」及び「土地又は工作物の存在及び供用」に伴い、人と自然との触れ合いの活動の場のアクセスルートが通行規制、通行止め又は工事用車両の走行による渋滞の発生等により、アクセス性の変化の程度を予測するものです。

快適性の変化：「工事の実施」及び「土地又は工作物の存在及び供用」に伴い、静寂性を必要とする人と自然との触れ合いの活動の場への騒音の影響や下流河川域における親水性をもった人と自然との触れ合い活動の場への濁りの影響を予測するものです。

5.10.4 予測結果

予測結果を表 5.10-4 に示します。

表 5.10-4 人と自然との触れ合いの活動の場の予測結果 (1/2)

| 予測の区分 | 予測地点 | 予測項目 | 予測結果 | 環境保全措置の検討※1 |
|-------|---------------|--------|---|-------------|
| 工事の実施 | 博要の丘 | 変更の程度 | 事業実施区域から離れており、変更されることはないものと予測されます。 | — |
| | | 利用性の变化 | 博要の丘への主な利用経路は、一般国道 165 号より県道松阪青山線、または県道青山美杉線を通るルートであると想定されます。ダム本体工事時は、付替県道松阪青山線または付替県道青山美杉線が利用可能であることから、ダム本体工事時の当該施設へのアクセスルートは確保されるものと予測されます。 | — |
| | | 快適性の变化 | 事業実施区域から最も近いところで 800m 程度離れており、「快適性の变化」が生じることはないものと予測されます。 | — |
| | 青山ハーモニー・フォレスト | 変更の程度 | 事業実施区域から離れており、変更されることはないものと予測されます。 | — |
| | | 利用性の变化 | 青山ハーモニー・フォレストへの主な利用経路は、一般国道 165 号より付替県道松阪青山線、または県道青山美杉線を通るルートです。ダム本体工事時は、付替県道松阪青山線または付替県道青山美杉線が利用可能と考えられることから、ダム本体工事時の当該施設へのアクセスルートは確保されるものと予測されます。 | — |
| | | 快適性の变化 | 事業実施区域から最も近いところで 500m 程度離れており、「快適性の变化」が生じることはないものと予測されます。 | — |
| | 桜山公園 | 変更の程度 | 事業実施区域から離れており、変更されることはないものと予測されます。 | — |
| | | 利用性の变化 | 桜山公園への主な利用経路は、一般国道 165 号を通るルートであると想定されます。工事計画から一般国道 165 号の工事用車両の走行はなく、また通行規制等もないことから、工事による一般国道 165 号への影響はないものと予測されます。 | — |
| | | 快適性の变化 | 事業実施区域から離れており、「快適性の变化」が生じることはないものと予測されます。 | — |

※1. —：環境保全措置の検討を行わない項目を示します。

表 5.10-4 人と自然との触れ合いの活動の場の予測結果 (2/2)

| 予測の区分 | 予測地点 | 予測項目 | 予測結果 | 環境保全措置の検討※1 |
|----------------|---------------|--------|---|-------------|
| 土地又は工作物の存在及び供用 | 博要の丘 | 変更の程度 | 事業実施区域から離れており、変更されることはないものと予測されます。 | — |
| | | 利用性の变化 | 博要の丘への主な利用経路は、一般国道 165 号より県道松阪青山線、または県道青山美杉線を通るルートであると想定されます。主な利用交通手段は乗用車であり、ダム完成後は、付替県道松阪青山線、または付替県道青山美杉線を通ることから、一般国道 165 号方面からの利用者にとってはアクセスルートの距離及び所要時間が減少すると予測されます。 | — |
| | | 快適性の变化 | 事業実施区域から離れており、「快適性の变化」が生じることはないものと予測されます。 | — |
| | 青山ハーモニー・フォレスト | 変更の程度 | 事業実施区域から離れており、変更されることはないものと予測されます。 | — |
| | | 利用性の变化 | 青山ハーモニー・フォレストへの主な利用経路は、一般国道 165 号より県道松阪青山線、または県道青山美杉線を通るルートであると想定されます。主な利用交通手段は乗用車であり、ダム完成後は、付替県道松阪青山線、または付替県道青山美杉線を通ることから、一般国道 165 号方面からの利用者にとってはアクセスルートの距離及び所要時間が減少すると予測されます。 | — |
| | | 快適性の变化 | 事業実施区域から離れており、「快適性の变化」が生じることはないものと予測されます。 | — |
| | 桜山公園 | 変更の程度 | 事業実施区域から離れており、変更されることはないものと予測されます。 | — |
| | | 利用性の变化 | 桜山公園への主な利用経路は、一般国道 165 号を通りルートであると想定されます。ダムの存在及び供用による交通量の大きな増加等はないと考えられ、一般国道 165 号への影響はないものと予測されます。 | — |
| | | 快適性の变化 | 事業実施区域から離れており、「快適性の变化」が生じることはないものと予測されます。 | — |

※1. —：環境保全措置の検討を行わない項目を示します。

5.10.5 環境保全措置

予測の結果から、「工事の実施」及び「土地又は工作物の存在及び供用」による人と自然との触れ合い活動の場への影響はないと予測されたため、環境保全措置の検討は行わないこととしました。

5.10.6 評価結果

人と自然との触れ合いの活動の場については、事業実施区域及びその周辺並びに木津川と服部川の合流点までの区間における主要な人と自然との触れ合いの活動の場について調査、予測を行いました。

影響予測の結果、主要な人と自然との触れ合い活動の場として選定された3箇所（博叢の丘、青山ハーモニー・フォレスト、桜山公園）は、いずれも事業による影響はないものと考えられます。